

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-①	与那原町魅力発信事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章—3—(2)—(ウ)
担当部署名	ブランド推進課	事業実施(予定)年度	平成26年～令和13年度	市場特性に対応した 誘客活動の展開
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ—1—(1)

**事業内容** 与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、事業を実施する。

**効果発現年度** 当年度 後年度( 年度)

**実施方法** 直接実施 委託 補助 負担 その他( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	18,665	18,142	28,275	25,658	40,489
	(b) 予算現額	6,160	6,817	27,073	26,315	40,768
	(c) 増減額(b-a)	▲12,505	▲11,325	▲1,202	657	279
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	6,160	6,817	27,073	26,315	40,768
	B. 執行済額	6015	6,454	27,009	26,228	40,710
	うち交付金充当額	4812	5,163	21,607	20,982	32,567
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	97.6%	94.7%	99.8%	99.7%	99.9%
予算の状況の説明		令和6年度は、概ね当初計画通りに予算を執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかた祭り」「スタンプラリー」等の開催	目標	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )
	実績	1回	1回	1回	1回
平成30年度に誕生したイメージキャラクターのプロモーション	目標	( 1式 )	( )	( )	( )
	実績	1式			
大綱曳PR資料作成	目標	( )	( 1式 )	( )	( )
	実績		1式		
与那原大綱曳まつり運営補助	目標	( )	( 1式 )	( 1式 )	( 1式 )
	実績		1式	1式	1式
観光施設案内標識板を設置し観光客のスムーズな誘導	目標	( 1式 )	( )	( )	( )
	実績	1式			
地域活性化イベント(みずべのマルシェ)及び観光資源を活用したイベントの実施(てくてくスタンプラリー)	目標	( )	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )
	実績		1回	1回	1回
与那原町アピールするガイドブック(リーフレット)の製作	目標	( )	( 1式 )	( )	( )
	実績		1式		
軽便与那原駅舎PR情報発信等	目標	( )	( )	( )	( 1式 )
	実績				1式
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与那原大綱曳まつりを開催し、2日間でのべ60,000人を集客することにより本町の魅力を十分に周知できた。</li> <li>・補助金の交付団体である「与那原地区社交飲食業組合」では、「ゆかた祭り」を実施し、10,000人ものがあつた。また、スタンプラリーは、398名の応募があり、総来店者数1,150回(うち、町内35%、町外65%)となつており、新たな客の呼び込みや町の知名度向上に一定数の効果があつた。</li> <li>・地域活性化イベントとして、観光資源である水路を活用した「よなばるマルシェ」を開催やスポーツをテーマとした取り組みを実施したことから、老若男女の幅広い来場者で約5,000人の来場があつた。幅広い方々に本町の魅力を伝えることができた。</li> <li>・軽便駅舎PR情報発信をすることで、これまでに認知が届かなかつたターゲット層にも届き、来館に繋がつており、イベント参加者の98%の満足度となつている。また、令和6年度与那原軽便駅舎展示資料館の来館者は6703人となり、前年度比146%となつている。</li> </ul>				

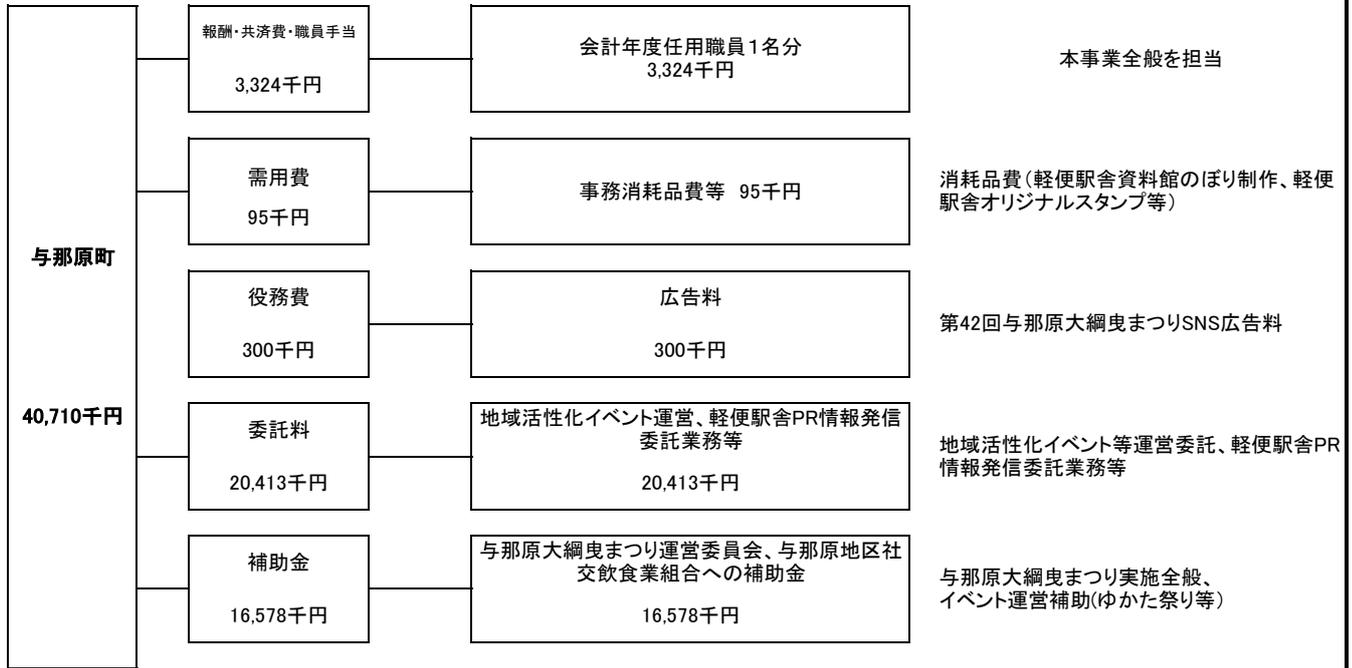
R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		与那原大綱曳まつりの誘客	目標	( )	( 50000人 )	( 40,000人 )
	実績		45000人	65000人	60,000人	
与那原大綱曳まつりの満足度	目標	( )	( 70% )	( 70% )	( 70% )	( )
	実績		81%	75%	77%	
「ゆかた祭り」「スタンプラリー」への参加	目標	( )	( 4000人 )	( 6,000人 )	( 5,000人 )	( )
	実績		3440人	10,970人	10,398人	
「スタンプラリー」への参加	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
「地域活性化イベント」への参加	目標	( )	( 4000人 )	( 2,000人 )	( 3,000人 )	( )
	実績		3000人	2,114人	5,000人	
与那原軽便駅舎展示資料館来館者数	目標	( )	( )	( )	( 7,000人 )	( )
	実績				6,800人	
進捗状況説明	与那原大綱曳まつりにおいては、目標の60,000人を達成。また、大綱曳実施後にLINEによるアンケートでは、かなり満足、満足が77%となり目標を達成できた。「ゆかた祭り」は、当初の目標を大きく超える10,000人の集客があり、目標を達成することが出来た。スタンプラリーでは、新規会員が3店舗参加するなど社交飲食業組合の組織強化に繋がった。また、軽便与那原駅舎PR情報発信等を行うことにより、目標の7,000人には届かなかったが、前年度比148%の来館者数の伸びがある。また、今回のイベント参加者の満足度も97%と高評価を頂けていることから、継続的にPRすることにより、更なる伸びも期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力発信事業を継続的に取り組んでいることが、各種催事による高い満足度の要因だと考える。</li> <li>与那原大綱曳まつりに関しては、会場のキャパ問題などでこれ以上の集客をすることは現時点で厳しいと考えているが、イベント開催による経済効果を出すことが今後重要と考える。</li> <li>与那原地区社交飲食業組合への補助においては、新規会員数を継続的に増やし、リピーター数の増を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域商工会やイベント関連事業者と連携をとりつつ取り組む。</li> <li>イベント時の出店や体験メニューを通じて引き続き町の魅力を発信するとともに、町内店舗や観光スポットに誘導する動線の構築に努める。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>広域(近隣市町村)連携での駐車場確保を進め、町外観光客の受け入れ課題解決に取り組む。</li> <li>「ゆかた祭り」等の事業と観光資源をコラボさせ、多様な年代、客層を取り込めるよう工夫を重ねる。</li> <li>今後も「与那原町ビジョン」を中心に町内外に発信し、ブランド力向上に努める。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
40,710	40,710	32,567	8,143	0



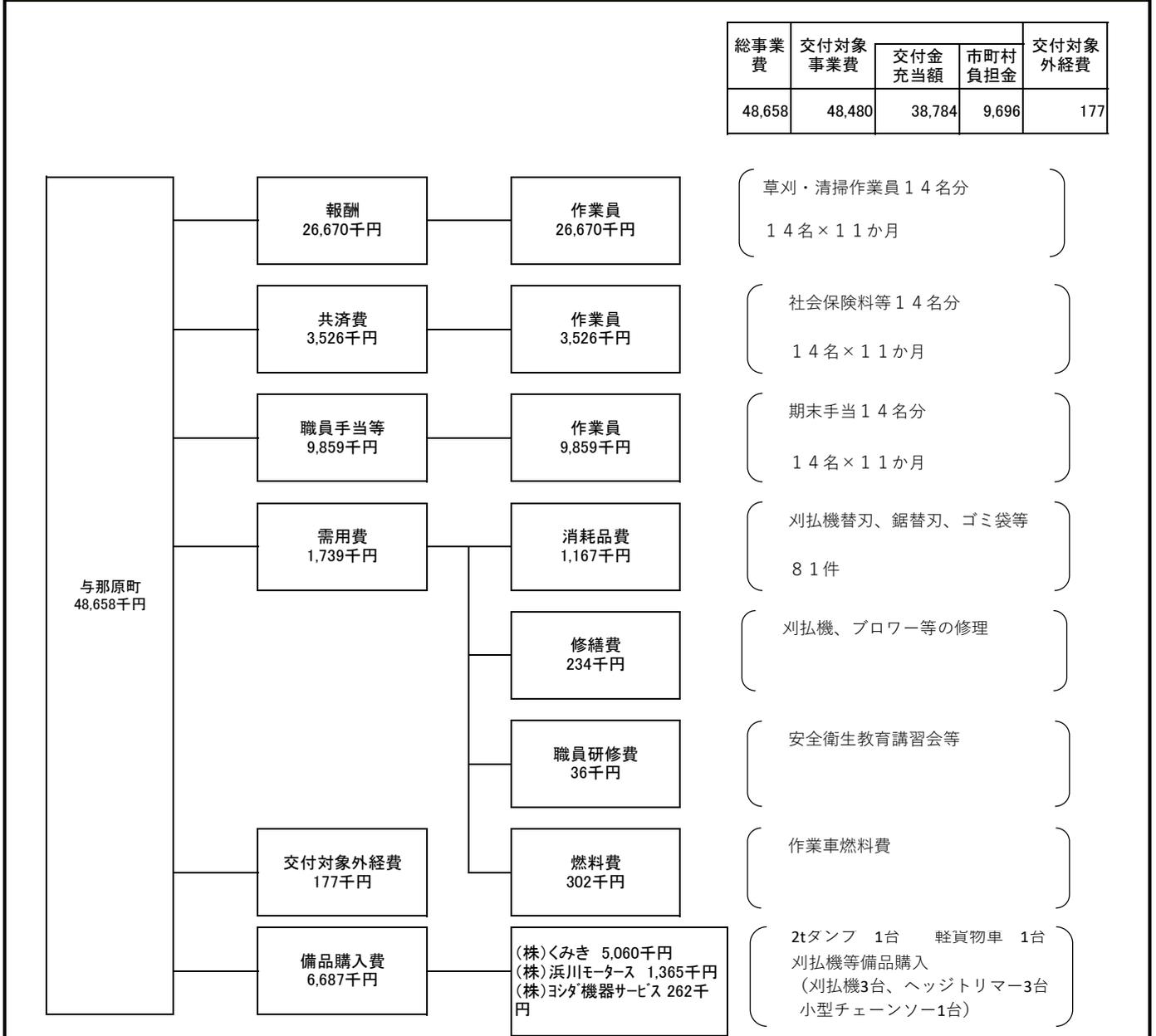
資金の流 れ 点 検 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、本町の契約・会計規則に基づき、見積りによる競争や指名競争入札、プロポーザルにより選定しており適正である。 ○複数見積等により予算を確定しており予算規模は妥当と考える。 ○受益者負担については、「与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱」に定める交付率に基づいており、負担関係は妥当であると考え。 ○費目・用途については実施段階で十分な検討を重ねており、目的に即した真に必要なものとなっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	美化・緑化きれいなまちづくり事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ア)	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本町を訪れる観光客等の満足度を向上させるため、散策コースの環境美化(剪定・除草・植栽整備等)を実施し、観光地としてふさわしい景観及び環境を創出する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,546	12,271	34,032	37,288	60,820
		(b) 予算現額	11,098	11,865	40,563	59,390	51,145
		(c) 増減額(b-a)	552	▲406	6,531	22,102	▲9,675
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	11,098	11,865	40,563	59,390	51,145
		B. 執行済額	11,029	11,658	39,928	58,184	48,480
		うち交付金充当額	8,823	9,326	31,942	46,547	38,784
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.4%	98.3%	98.4%	98.0%	94.8%
予算の状況の説明	入札残による減額で当初予算から9,675千円減。執行率は94.8%であり、適切に執行することができた。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	散策コース環境美化作業員配置		目標 ( 6名 )	( 14名 )	( 14名 )	( 14名 )	
			実績	6名	14名	14名	
	フットライトの設置		目標 ( )	( L=3,690 )	( L=1,103 )	( )	
		実績		L=3,690	L=1,103		
達成状況説明	・散策コースを作業員14名により定期的に美化清掃を繰り返すことで、環境の美化を維持することができ、散策コースを気持ちよく回遊できる景観及び環境を整えることができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	本事業による取組の結果、散策しやすくてきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。		目標 ( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
			実績	85%	88%	83%	
	【参考指標】本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、「観光地としてふさわしい景観及び環境である」(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	町民等アンケート調査を実施した結果、肯定的な意見が全体の80%を超えており、成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散策コースの美化作業に加え、令和4年～5年度に取り組んだ視線誘導標(LEDフットライト)の整備により、散策しやすくきれいなまちとしてふさわしい景観が整ったことが目標値達成の要因と考えられる。</li> <li>・令和6年度も令和5年度に引き続き、14名体制で事業実施し、報酬費、共済費、職員手当などの予算の執行管理を行い、執行率94.8%となった。</li> <li>・草刈・清掃箇所については、交通量の多い道路や歩道沿いとなっていることから、事故・怪我等がないよう安全に作業する必要があったが、物損事故が発生した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度の更なる向上に向け、引き続き剪定・除草等による散策コースの環境美化を進めるとともに、アンケート調査結果を参考に取り組みを工夫する必要がある。</li> <li>・予算に関して、必要額・不用額について早めに判断し、早い時期での事業計画の変更等を行う必要がある。</li> <li>・作業中の安全面に考慮しながらできるだけ効率よく実施できるように引き続き工夫する必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果を参考に除草及び清掃箇所の重点化等を行い、新たな美化緑化の取り組みを検討する。</li> <li>・予算の執行管理について、引き続き定期的に確認を行う。</li> <li>・作業員へ刈払機の取扱い講習を受講させるとともに、安全面に配慮した体制を強化する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

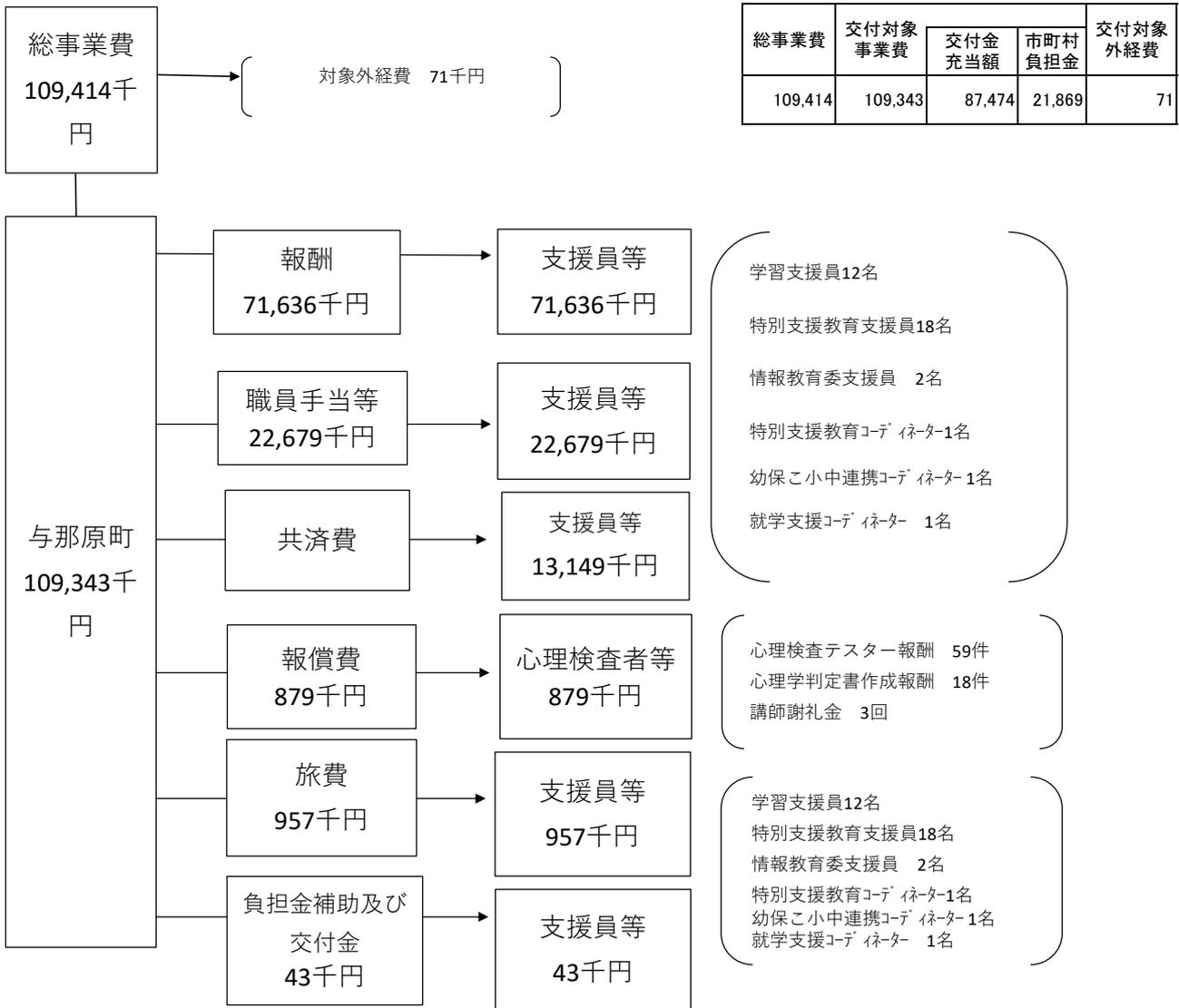


資金の流点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の選定については、面接により選定し、条例・規則に基づき任用しており妥当であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の執行率が94.8%となっていることから適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実  Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対する支援等のきめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(a) 当初予算額	69,280	64,054	109,666	98,764	116,133	
	(b) 予算現額	63,396	59,990	74,705	84,310	117,316	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 5,884	▲ 4,064	▲ 34,961	▲ 14,454	1,183	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	63,396	59,990	74,705	84,310	117,316	
	B. 執行済額	60,791	57,118	72,164	81,609	109,343	
	うち交付金充当額	48,633	45,695	57,731	65,287	87,474	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	95.9%	95.2%	96.6%	96.8%	93.2%	
予算の状況の説明	処遇改善による給与改定等のため増額した。 支援員の中途退職や中途採用等、年間通じて人員を確保できなかったため93.2%の執行率となった。						
活動目標(指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学習支援員 12名配置	目標	( 10名 )	( 20名 )	( 11名 )	( 12名 )	
		実績	10名	19名	11名	12名	
	特別支援教育支援員 18名配置	目標	( 14名 )	( 16名 )	( 19名 )	( 18名 )	
		実績	13名	13名	17名	18名	
	情報教育支援員 3名配置	目標	(      )	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )	
		実績		2名	3名	2名	
	特別支援教育コーディネーター 1名配置	目標	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	
		実績	1名	1名	1名	1名	
幼保こ小中連携コーディネーター 1名	目標	(      )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )		
	実績		1名	1名	1名		
就学支援コーディネーター 1名	目標	(      )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )		
	実績		0名	0名	1名		
達成状況説明	・学習支援員、特別支援教育支援員、特別支援教育コーディネーター、幼保こ小中連携コーディネーター、就学支援コーディネーターはそれぞれ目標人数配置できた。 ・情報教育支援員は1名応募がなく2名のみの配置となった。						
成果目標(指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		目標	(      )	小学校+0.3 中学校	小学校+0.3 中学校+0.9	小学校+0.3 中学校+0.9	(      )
	実績		小学校-0.9 中学校+2.6	小学校+0.2 中学校+3.9	小学校+2.4 中学校+4.5		
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		93.02%	87%	92%	
進捗状況説明	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の目標値を小・中学校共に大幅に達成した。 ・保護者の満足度については、2月から3月にかけて保護者向けの「学校における特別支援教育に対するアンケート」を実施した。36名からの回答を集計した結果、目標を上回る92%の保護者から満足したとの回答が得られた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【沖縄県学力到達度調査の平均正答率の差】 県と本町との平均正答率の差の目標値を小・中学校共に大幅に達成したことは、個別に寄り添った個別指導が行き届いていることが要因と考えられる。	【沖縄県学力到達度調査の平均正答率の差】 支援員は見回りや声掛け等だけでなく、教員との連携のもと、学習内容についても積極的にに関わり、より効果的な学習支援に努める。
	【アンケート満足度】 各学年に1人の特別支援教育支援員を配置することにより、よりきめ細かな支援が行き届いていることが目標達成の要因と考えられる。	【アンケート満足度】 引き続き支援員の研修を行い、支援に必要な知識スキルの向上を図り安定した支援体制を整える。
<b>今後の取り組み方針</b>		
【沖縄県学力到達度調査の平均正答率の差】 学習支援員の教職員研修会への参加と指導主事等の研修指導を検討する。		
【アンケート満足度】 学習支援員及び特別支援教育支援員の研修を複数回取入れ支援員のスキルアップ及び支援体制の向上を図る。 特別支援教育コーディネーターと学校特別支援コーディネーターとの連携強化及び特別支援教育支援員への指導助言体制について検討する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○支援員等については、応募者を面接により選定し、「与那原町会計年度任用職員に関する規則」に基づき任用しており妥当である。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となった。 ○費目・使途については事業目的に即している。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	2-②	国際理解人材育成事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)

**事業内容** 国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のために、主任英語指導助手の配置や、英語授業支援コンテンツによる授業を実施する。

**効果発現年度**  当年度  後年度( 年度)

**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	10,416	8,758	4,817	4,420	7,316
		(b) 予算現額	10,487	6,447	4,798	4,445	7,469
		(c) 増減額(b-a)	71	▲2,311	▲19	25	153
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	10,487	6,447	4,798	4,445	7,469
	B. 執行済額		10311	6301	4382	4,400	7,297
	うち交付金充当額		8248	5040	3505	3,520	5,838
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.3%	97.7%	91.3%	99.0%	97.7%
	予算の状況の説明		人件費の増額により増額をした。 主任英語指導助手 1名を配置し適正に執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		主任英語指導助手 1名配置	目標 ( 2名 )	( 1名 )	( 1名 )
	実績	7時間:1名(12月) 7時間:1名(6月)	1名	1名	1名
達成状況説明	主任英語指導助手 1名を配置した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		英検合格率 50%	目標 ( )	( 5%上昇 )	( 5%上昇 )	( 50% )
		実績	2.80%	-0.50%	55%	
	【参考指標】	目標 ( )	( )	( )	( )	( )
		実績				
進捗状況説明	目標である合格率50%を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	目標の合格率50%を達成したことは、ALTの活用および学習支援コンテンツの使用により、児童生徒の英語学習への興味や意欲の向上が要因と考えられる。	児童生徒がより興味関心を持つことができる授業のために、ALTと教職員の連携について意見交換会等を行う。
<b>今後の取り組み方針</b>		
町内の各校が参加し、現時点での取組・課題等の意見交換をする場を設ける。 具体としては、「英検」をきっかけとして外国語への興味・関心を高め人材育成へ繋げるために、主任英語指導助手、英語主任及びJETプログラムALTとの連絡会において「英検へ向けた取り組み」について引き続き検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,297	7,297	5,838	1,459	0
与那原町 7,297千円	職員手当等 3,203千円	主任英語指導助手	主任英語指導助手 1名 英語授業支援コンテンツによる授業の実施。		
	職員手当等 1,206千円	主任英語指導助手 1,206千円			
	共済費 658千円	主任英語指導助手 658千円			
	旅費 85千円	主任英語指導助手			
	使用料 2,145千円	HelloWorld株式会社 2,145千円			
資金の流 れ、 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手については、面接により選定し、「会計年度任用職員に関する規則」に基づき任用しており妥当であると判断している。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○必要に応じて予算の増額を行う等、適正な執行管理に努めた。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○必要に応じて予算の増額を行う等、適正な執行管理に努めた。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的に即している。		

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	2-③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	Society5.0に対応する教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

**事業内容**  
児童生徒の学力向上及び人材育成の為に、わかりやすい授業を行う為のタブレットを整備する。  
児童生徒の主体的な学びと先生の授業運営を支援する多機能な学習支援ソフト(ロイロノート)各小中学校へライセンスを用意する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

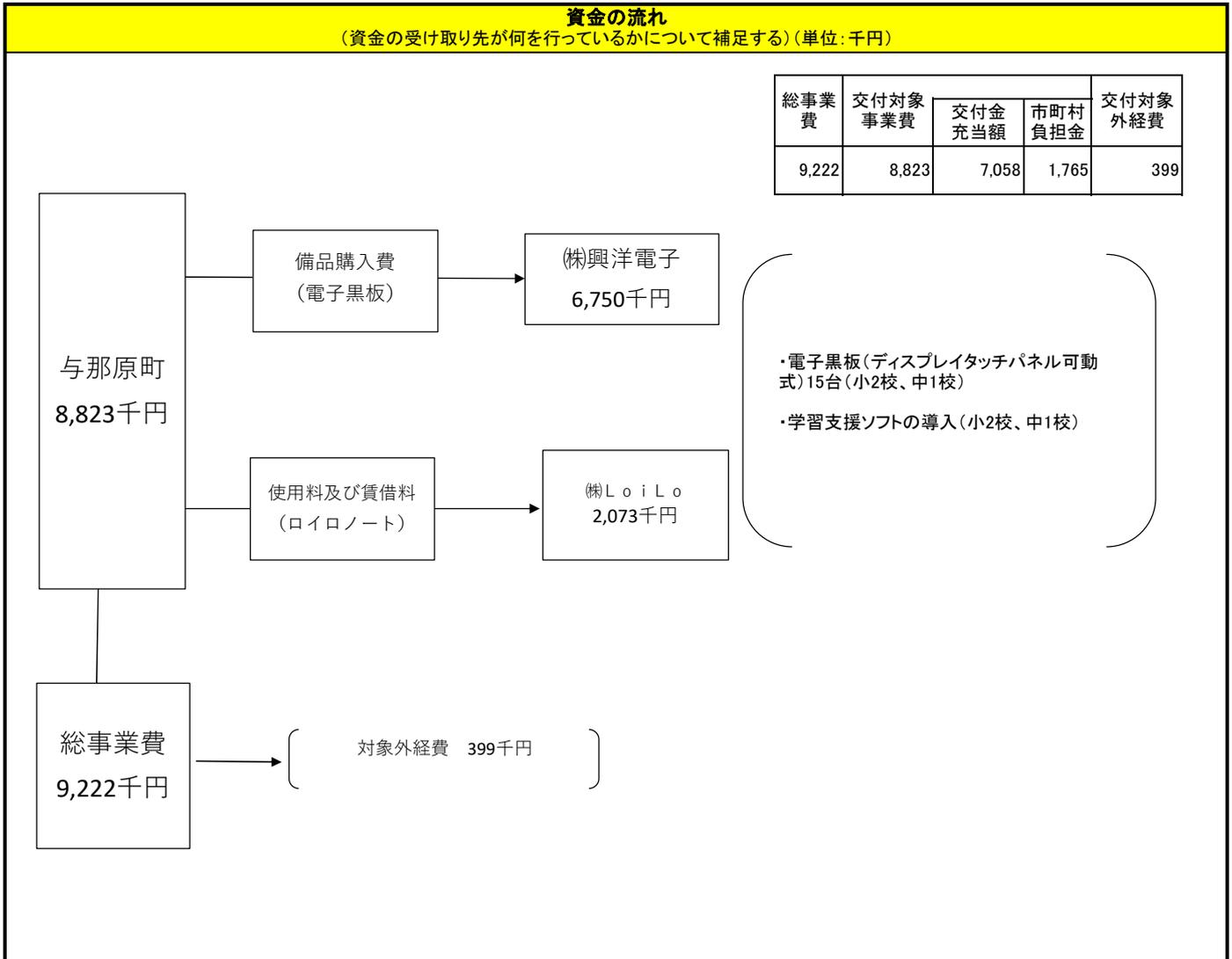
**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他(      )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額	11,107	14,660		4,156	17,617
	(b) 予算現額	9,355	12,473		18,147	9,224
	(c) 増減額(b-a)	▲1752	▲2187	0	13,991	▲8393
	(d) 繰越額	0	0		0	0
	A. 計(b+d)	9,355	12,473	0	18,147	9,224
	B. 執行済額	9289	12460		17,448	8,823
	うち交付金充当額	7431	9968		13,958	7,058
	次年度繰越額	0	0		0	0
	執行率(%) (B/A)	99.3%	99.9%	#DIV/0!	96.1%	95.7%
	予算の状況の説明	備品購入費の入札残により減額をした。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
電子黒板一式(電子黒板15台)	目標	( 1小学校(3台) 1中学校(7台) )	(                    )	( 2小学校(16台) 1中学校(7台) )	( 2小学校(8台) 1中学校(7台) )
	実績	1小学校(3台) 1中学校(7台)		2小学校(16台) 1中学校(7台)	2小学校(8台) 1中学校(7台)
R5 デジタル教科書 R6 学習支援ソフト(ロイロノート)(2,094台分)	目標	(                    )	(                    )	( 2小学校 一式 )	( 2小学校 1中学校 )
	実績			2小学校 一式	2小学校 1中学校
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板(ディスプレイタイプ 可動式) 15台購入(小学校8台、中学校7台)</li> <li>学習支援ソフト(ロイロノート)(2,094台分)</li> </ul>				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	目標	(                    )	(                    )	(                    )	( 80% )
	進捗状況説明	実績				80.0%	
・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上であった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	機器の整備等は進んでいるが、活用やセキュリティーでは足りない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用のできる人員不足</li> <li>・各種セキュリティー研修の未実施</li> </ul>
今後の取り組み方針		
これまでの電子黒板や活用できるアプリに加えて、ICT支援員の配置とセキュリティー研修の実施を行う。		



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○備品購入については、一般競争入札により選定しており妥当である。</li> <li>○不用額は事業費の5%以下であり概ね適正な規模であったと判断した。</li> <li>○費目・用途については事業目的に必要であり、合致している。</li> <li>○必要に応じて予算の減額を行う等適正な執行管理に努めた。</li> <li>○費目・用途については事業目的に即している。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
<b>令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-④	不登校対策等事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和6年度 ～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む 学校教育の推進  Ⅲ-3-1		
事業内容	不登校児童生徒に対する登校復帰、不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置、校内自立支援員の配置、学校カウンセラーの配置等を行い、学校現場に支援体制を構築し、不登校の改善を目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	20,219				
		(b) 予算現額	14,862				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,357	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	14,862	0	0	0	0
	B. 執行済額		14,299				
	うち交付金充当額		11,439				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
<b>予算の状況の説明</b>		・中学校に校内自立支援員を配置予定であったが、別補助金にて対応することとなったため人件費等1名分補正にて減額。 ・報酬や賞与の遡及支給があったため、補正にて予算額を増額。 上記の予算増減の結果、最終的に予算額の減額になった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	・学校カウンセラーの配置、派遣	目標	( 1名 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	1名				
	・校内自立支援員の設置及び配置	目標	( 2名 )	(      )	(      )	(      )	
実績		2名					
<b>達成状況説明</b>	・学校教育課に学校カウンセラーを1名配置し、各小中学校を巡回。 ・各小学校校内自立支援室を設置し、自立支援員2名を配置。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度		目標値 (年度)	
	児童生徒の不登校復帰率:小学校10%		目標	(      )	( 10% )	(      )	(      )
			実績		16%		
	<b>進捗状況説明</b>	・中学校においては別補助対応のため削除。 ・設定当初は10%で設定していたが、小学校の不登校数に対する復帰率が前年度よりも大幅に増加し16%に上昇した。					

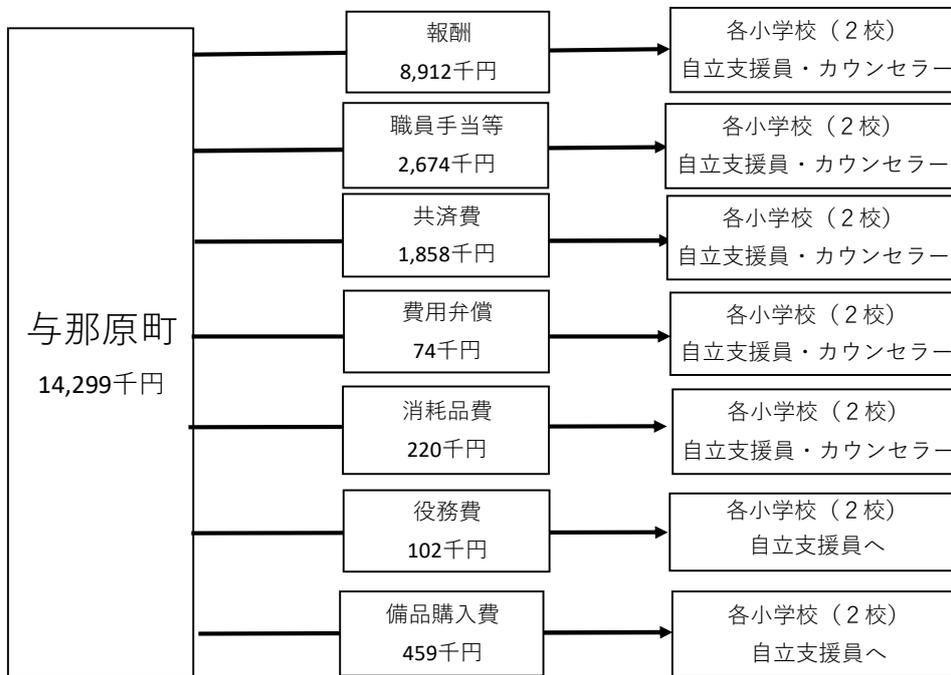
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度より開始した事業ではあるが、校内自立支援室の設置および支援員を配置したことにより環境整備したことが目標達成の要因と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の研修を行い、支援に必要な知識スキルの向上を図り安定した支援体制を整える。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 引き続き各小学校においては校内自立支援室および自立支援員の児童対応、学校カウンセラーにおいては各小中学校への巡回相談を行う。
- 自立支援員及び学校カウンセラーの研修会への参加を推奨し、スキルアップ及び支援体制の向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,299	14,299	11,439	2,860	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援員等については、応募者を面接により選定し、「与那原町会計年度任用職員に関する規則」に基づき任用しており妥当である。</li> <li>○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となった。</li> <li>○費目・使途については事業目的に即している。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

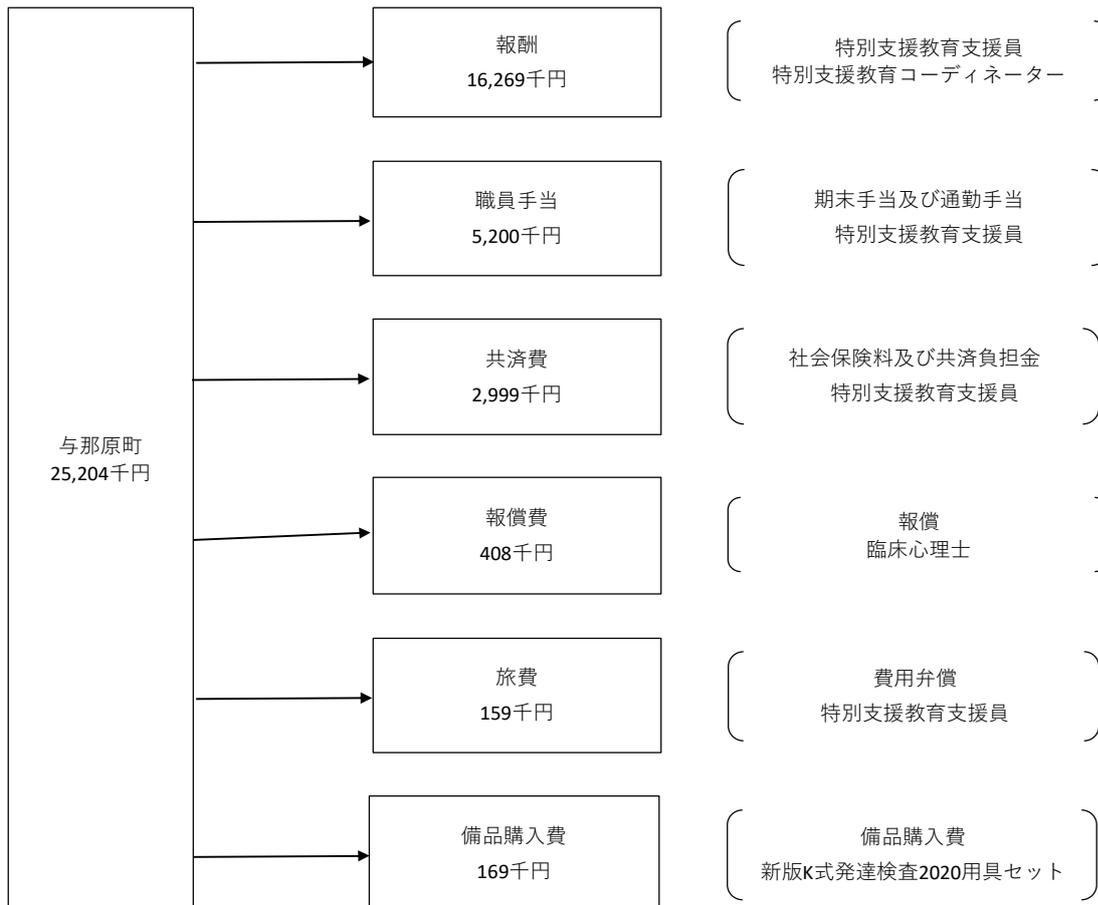
市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進		
事業内容	特別な支援を要する児童の、幼稚園における集団生活や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るために、特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置して、個の発達に応じたきめ細かな支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額		18,226	25,555	25,523	22,632	29,337
			17,420	24,372	21,686	19,157	30,408
			▲ 806	▲ 1,183	▲ 3,837	▲ 3,475	1,071
			0	0	0	0	0
			17,420	24,372	21,686	19,157	30,408
		15,568	23,176	20,928	18,932	25,204	
		12,455	18,540	16,742	15,146	20,163	
		0	0	0	0	0	
		89.4%	95.1%	96.5%	98.8%	82.9%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事院勧告に伴う条例改正により、報酬を遡及して加算支給を行ったり、賞与の率変更があり、1,071千円の増額補正となっている。</li> <li>・不要額5,204千円は勤務実績による差額。</li> </ul>						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	特別支援教育支援員10人 特別支援教育コーディネーター1人 臨床心理士2人	目標 ( 13名 )	( 14名 )	( 13名 )	( 13名 )		
	実績	13名	13名	12名	13名		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員・・・年度初めのうちは欠員もあったが、9月より10名の配置となった。</li> <li>・特別支援教育コーディネーター・・・年間を通して1名配置することができた。</li> <li>・臨床心理士・・・年間を通して2名配置することができた。</li> </ul>						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を成果目標とする。</li> </ul>	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		96%	90%	100%	
進捗状況説明	支援効果については、保護者アンケートを実施。すべての保護者が支援に満足しており、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(支援員等について) ・どの園児に対しても適切な支援を行う必要があるため、関係者間で常に情報共有する必要がある。	(支援員等について) ・従来通り、担任と支援員のミーティングの時間を確保する必要がある。
	(保護者の意見として) ・「自分の気持ちを言葉で伝えたり、お遊戯に多く参加出来るように、本人の特性に合わせて支援をしてほしい」という意見あり。	(保護者の意見について) ・支援員の経験値によって、支援内容に差が生まれないようにする必要がある。 ・保護者と幼稚園との情報共有の強化が必要。

今後の取り組み方針
(支援員等について) ・退職がある場合(特にコーディネーター)は、有料求人メニューを活用することも検討する。 ・発達に応じた支援ができるように、担任と支援員のミーティング時間を確保し、園児の支援内容を共有することができるように取り組む。
(保護者の意見について) ・研修を設けて、支援員の専門的知識の向上に繋げ、より高いレベルで質の平準化を図れるよう取り組む。 ・より安心して進学してもらえよう、小学校への引継ぎ内容等を保護者と確認する場を、更に設けるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,204	25,204	20,163	5,041	0



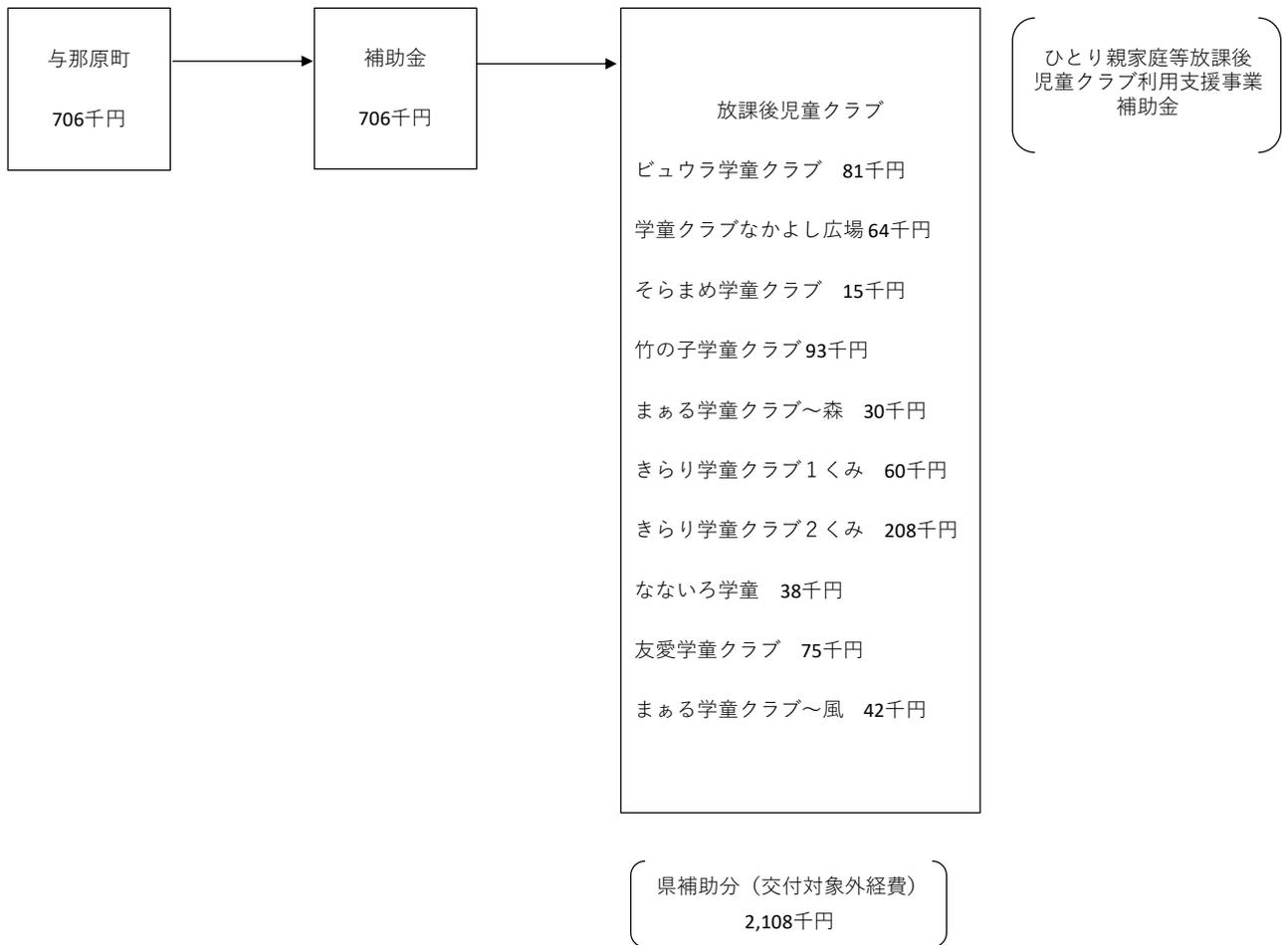
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支援員の任用は、応募者から面接により適任者を選定し、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当と考える。 ・予算規模については、前述の例規に基づき算定しており、適正な規模であると考え。 ・費目・用途については、事業目的に必要であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町				
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-イ	
担当部課名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	貧困状態にある子どもへの支援 Ⅲ-4-(1)	
事業内容	ひとり親家庭等の放課後児童クラブ利用を支援するために、当該家庭等の利用料を減免する放課後児童クラブに対し、減免に要した費用の一部を助成する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(a) 当初予算額	1,350	1,050	1,050		
	(b) 予算現額	861	877	706		
	(c) 増減額(b-a)	▲489	▲173	▲344	0	0
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計(b+d)	861	877	706	0	0
	B. 執行済額	757	826	706		
	うち交付金充当額	606	660	564		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	87.9%	94.2%	100.0%		
予算の状況の説明	補助の申請数(実績)を踏まえて344千円の予算減					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)	達成状況				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成(ひとり親家庭等受入クラブ)	目標 ( 10クラブ ) 実績 10クラブ	( 10クラブ ) 10クラブ	( )	( )	
達成状況説明	・全10クラブ中、10クラブでひとり親家庭等の児童受入があった。 ・全10クラブでひとり親家庭等の利用料減免を実施しており、活動目標のとおり達成。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	対象家庭(保護者)へアンケートを行い、80%以上が「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答を成果目標とする。	目標 ( ) 実績	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
	進捗状況説明	利用者支援効果については沖縄県と共同で調査を実施。目標以上の100%達成。内容としては、「仕事を続けることができた」「収入の増加につながった」「こどもの学習習慣・生活環境が改善された」等、子どもの居場所確保や健全育成、保護者の経済的自立に向けての支援効果があったといえる。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減免の決定までに期間がかかるので、対応が早くなれば良いと思うという意見が見られた。</li> <li>・申請方法が紙媒体のみとしているので、利便性向上が必要と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に減免を開始できるよう検討する必要がある。</li> <li>・オンライン申請を検討し、利便性向上を図る</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の減免実施を望む意見があったため、減免開始時期を早められるよう各児童クラブと検討を行う。</li> <li>・これまでの紙媒体での申請方法に加え、オンライン申請できる仕組みづくりをする。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,814	706	564	142	2,108



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○減免を実施している主体(学童クラブ)への補助金のため、妥当と考える。</li> <li>○執行率は適正と考える。</li> <li>○県から町への補助基準額と同基準であるため、妥当と考える。</li> <li>○利用料減免に要した費用と限定しており、目的に即していると考ええる。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	与那原町海外友好親善大使人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		
事業内容	文化交流を推進し、移住先国とのネットワークを強化するため、町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献する人材を育成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	3,483	2,228	3,862	3,894	3,904
		(b) 予算現額	3,044	1,856	2,683	1,579	2,022
		(c) 増減額(b-a)	▲439	▲372	▲1,179	▲2,315	▲1,882
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	3,044	1,856	2,683	1,579	2,022
	B. 執行済額		0	0	2,565	1,492	1,930
		うち交付金充当額	0	0	2,052	1,194	1,543
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		0.0%	0.0%	95.6%	94.5%	95.5%
予算の状況の説明		当初2名の受入を予定していたが、最終的に1名の受入となり減額補正した。受け入れた1名においては、事業計画通りに執行を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	研修生の受入	目標	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	
		実績	0名	2名	1名	1名	
	児童生徒・町民との交流会の実施	目標	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	
		実績	0回	9回	2回	1回	
	日本語および文化研修の実施	目標	( - )	( - )	( - )	( 90回 )	
		実績	-	-	-	49回	
	交流会におけるアンケート実施	目標	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 3回 )	
		実績	0回	9回	2回	1回	
帰国後の研修生による報告会およびアンケートの実施	目標	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )		
	実績	0回	1回	1回	1回		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生受入については、当初2名を予定していたが、各国からの推薦等の結果ペルーから1名の受入となった。</li> <li>・交流会については、町ジュニアリーダーと沖縄料理や与那原町特産品であるひじきを用いたオリジナル料理を調理して異文化交流を図るとともに(町民を講師で招いた)、町内外の親戚・宿泊先所在地域の自治会等・研修講師やその他の生徒等といったさまざまなつながりの町民とも、日々の習い事や沖縄の年中行事(旧盆)、与那原町伝統行事(与那原大綱曳まつり)、自治会イベント等を行うことで地域との交流もできた。これらを通して、町民の移民に対する意識を高め、国際交流への関心を深めることができた。しかしながら、他プログラムや関係各所との都合により「交流会」は1回のみ開催となり目標を達成できなかった(それに伴い、交流会におけるアンケートの実施も1回となった)。</li> <li>・研修の実施については、他プログラムや講師都合等との調整を行い、目標回数には及ばなかったが来沖前の希望だけではなく研修開始後の新たな希望も含めた研修科目の設定に努めた。</li> <li>・帰国後の現地報告会については、ペルー与那原町人会で研修報告会が開催され、研修生は沖縄での生活や研修科目を発表し、現地における今後の与那原町・沖縄県の文化継承及び発展につながる機会となった。</li> </ul>					

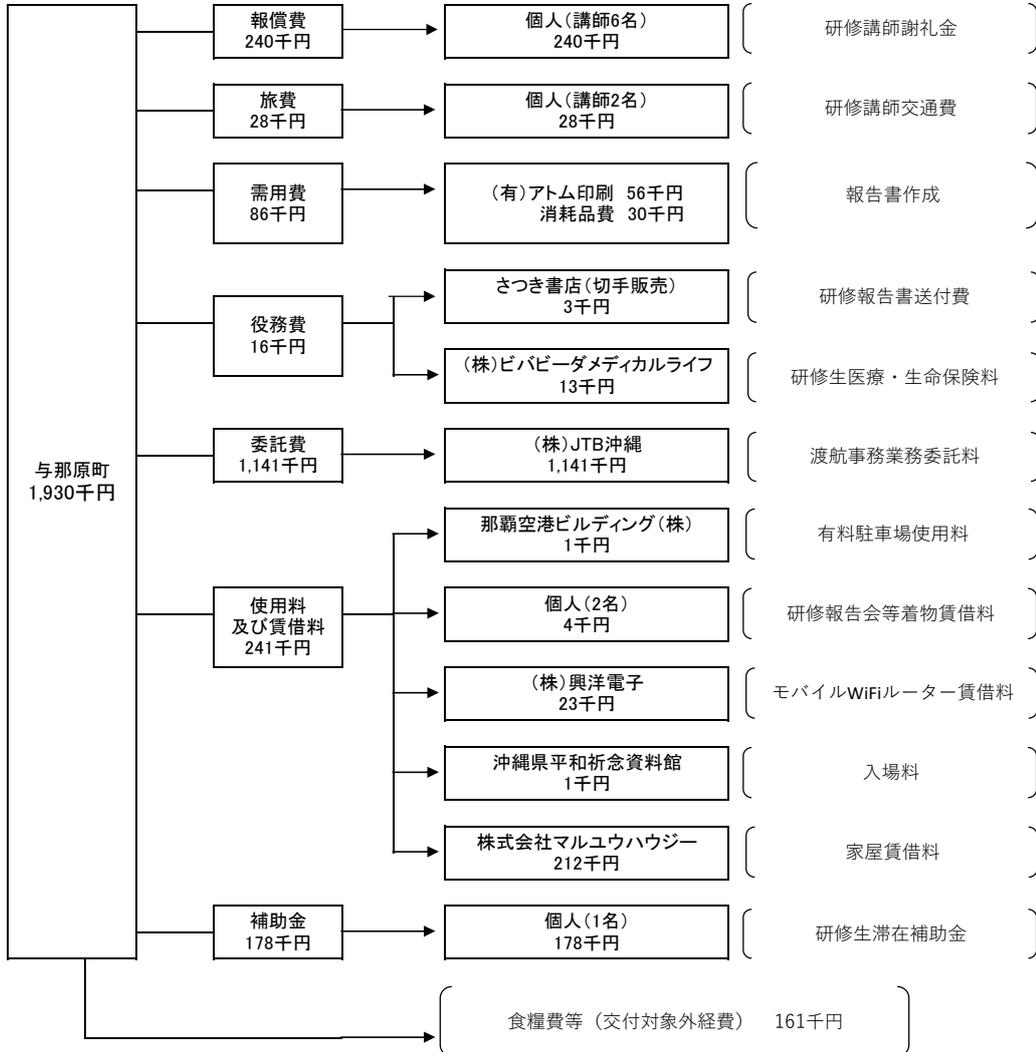
R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		交流会の開催	目標 ( 1回 )	( - )	( - )	( 1回 )
	実績		-	-	1回	
帰国後に現地での報告会	目標 ( 1回 )	( - )	( - )	( 1回 )	( 1回 )	
	実績		-	-	1回	
与那原町における交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合	目標 ( 90% )	( 90% )	( 90% )	( 90% )	( 91% )	( )
	実績		90%	92%	94%	
帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合 (PR大使としての活動の実施)	目標 ( 90% )	( 90% )	( 90% )	( 90% )	( 100% )	( )
	実績		100%	100%	100%	
進捗状況説明	<p>・町ジュニアリーダーとの交流会にて行ったアンケートについては、参加者全員から回答を得て「国際交流に関心がある」割合が94%と、本事業を通して移民の歴史を知り、その移民の子弟との異文化交流により国際交流への高い関心が見られる。</p> <p>・帰国後の研修報告会にて行われたアンケートについては、参加者全員が「沖縄・与那原に興味がある」と回答され、沖縄県・与那原町の文化や芸術等および本事業への関心を高めることができた。PR大使として、研修で学んだ知識や経験等を活かして現地町人会の中核を担い、移民ネットワークの強化および文化等の普及活動に努めている。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(研修生の受入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国コミュニティの運営状況等の影響もあるが、ペルー共和国からのみという状況が続いている中で、さらに人数も1人のみという状況が出てきている。</li> <li>・迎え入れる側(与那原町等日本の親戚)の高齢化および派遣側(各国の移民者子弟)の世代交代により、移民の歴史、与那原町の風景・風土、故郷(与那原)への想い等の継承が難しくなっている。(若年層の子弟は、移民時代の資料は「資料」であり、想いが高まるような想像は難しい)</li> </ul>	<p>(研修生の受入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国と密に連絡を取り合い、各国コミュニティの状況(実質の運営状況だけでなく、年齢層等)や現地の生活状況(学生の長期休暇シーズン、就労者の年間スケジュール等)をお伺いしながら調整し、事業実施時期を検討する。</li> <li>・与那原町PR動画やこれまでの本事業の動画を提供し、現地コミュニティで共有していただくことで、現代の与那原・沖縄に触れ、自身のルーツへの関心を高める。</li> </ul>
	<p>(研修の内容)</p> <p>日本語を含む各研修の成果(研修生本人にとっての充実度)において、研修生が1名で切磋琢磨する機会が生まれず、研修生本人のスキル(日本語力のほか、性格や好み等)の影響が大きくなってしまふ。</p>	<p>(研修の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同様の取組を行っている近隣市町の実施スケジュールや研修内容を伺い、連携可能性がある点については調整する。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>(研修生の受入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容ともなる「与那原大綱曳まつり」の開催時期も含め、事業実施時期の検討を行う。</li> <li>・町の観光担当課等とも連携し、与那原町に関連する動画を提供する。</li> </ul> <p>(研修の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町の取組を参考に内容を検討し、連携等に向けた調整を行う。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,091	1,930	1,543	387	161



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費について、入札により業者選定を行った。3者見積にて設計価格を作成したうえで入札を実施しており適正である。 ○受益者である研修生は、与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱に基づき妥当である。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となった。 ○費目、用途については、精算時に検査を行い、目的に即した必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	5	新しい公共交通検討事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-ア
----------	---	-------------	--------------------------	-------------

担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和元～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり Ⅲ-4-(2)
-------	-----	------------	-----------	------------------	-------------------------------

**事業内容** 高齢者、障がい者や妊産婦などの交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討の可否を検討するために実証実験を行う。

**効果発現年度**  当年度  後年度(令和 年度)

**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b> (a) 当初予算額	9,526	10,397	10,707	11,428	12,288
	(b) 予算現額	8,687	7,953	10,668	11,781	12,276
	(c) 増減額(b-a)	▲ 839	▲ 2,444	▲ 39	353	▲ 12
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	8,687	7,953	10,668	11,781	12,276
	B. 執行済額	7,860	6,480	9,308	10,345	10,539
	うち交付金充当額	6,288	5,184	7,446	8,276	8,431
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	90.5%	81.5%	87.3%	87.8%	85.9%
	予算の状況の説明	人件費の改定や燃料費の高騰を勘案し、予算を確保していたが、予想より燃料費が高騰しなかったため、予算を抑えることができた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
福祉型町内バスの実証実験の実施	目標	( 実証実験の実施 )	( 実証実験の実施 )	( 実証実験の実施 )	( 実証実験の実施 )
	実績	実証実験の実施	実証実験の実施	実証実験の実施	実証実験の実施
アンケートの実施	目標	( )	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )
	実績		0回	1回	1回
検討委員会の実施	目標	( )	( 1回 )	( 1回 )	( 1回 )
	実績		1回	1回	1回
達成状況説明	令和元年度から引き続き、毎年改善と実証を繰り返しながら町内バス実証実験を実施した。令和5年度と令和6年度は利用者に対し、要望や改善点等のヒアリングを行った。また、利用者に対しアンケートの実施をした。検討委員会も開催し、現状の報告、実証実験延長の必要性等について議論した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		町内バスの導入可否の決定	( )	( 決定 )	( 決定 )	( 決定 )	( )
		実績		未決定	未決定	未決定	
	【参考指標】 需要や課題等の実態把握	目標	( )	( 実態把握 )	( 実態把握 )	( 実態把握 )	( )
	実績		実態把握未完了	実態把握未完了	実態把握未完了		

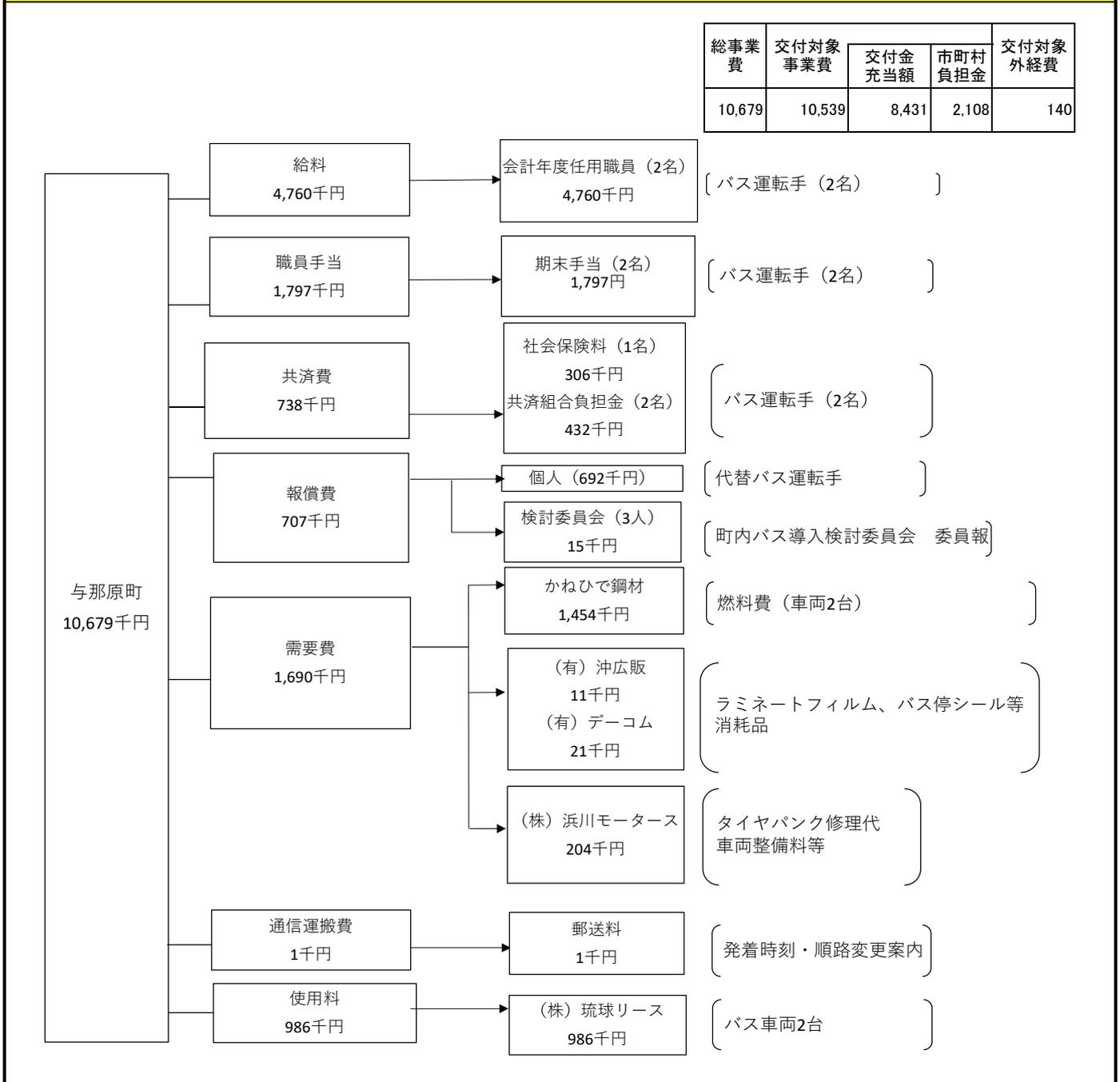
**進捗状況説明** コロナやインフルエンザの流行期に乗り控えがありはしたが、比較的安定して利用しており、利用者数も増加している。ただし、利用者へのヒアリングを行った結果、バスの運用時刻や運用方法についての要望等が複数あがっており、未だ改善点が認められることから、運用方法の改善を図ったうえで再度、実態把握をする必要がある。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者数は増えてきているが、運用時間帯に未だ改善の余地があることから、現段階での本格導入の可否について判断は難しい。	これまで高齢者や障がいがある方へのアプローチやアンケート調査を通し、改善を行ってきた。今年度は、運転手のお休みを交代制にし、3便から4便にかけて続けて乗ることができ、より利便性を高めることができた。しかし、土日のに買い物にいきたいが利用できない等の声もあり、今後の運用について検討したい。

**今後の取り組み方針**

新たな需要の創出と利便性の確保を目的として、日曜日の運行について実証を行い、スーパーでの買い物など外出の機会を提供できるスケジュールを実施する。  
それにより利用者の利便性を高め、利用者増へとつなげていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○バス運転手の任用は、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○リースについては入札で決定しており、設計額も複数業者の見積りを参考にしており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的に必要なものにおいて支出しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6	与那原町防災力強化事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-2-(4)-ア
担当部署名	生活環境安全課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和10年度	危機管理体制の強化
			沖縄振興基本方針該当箇所	III-10-(3)

**事業内容**  
 いつ起こるかかわからない災害に対して、非常用食料及び資機材を計画的に購入・入替を行うことで災害に強いまちづくりの実現を図る。また、防災士の資格取得の支援を行うことで、各防災組織の防災力の強化を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託       補助       負担       その他(      )

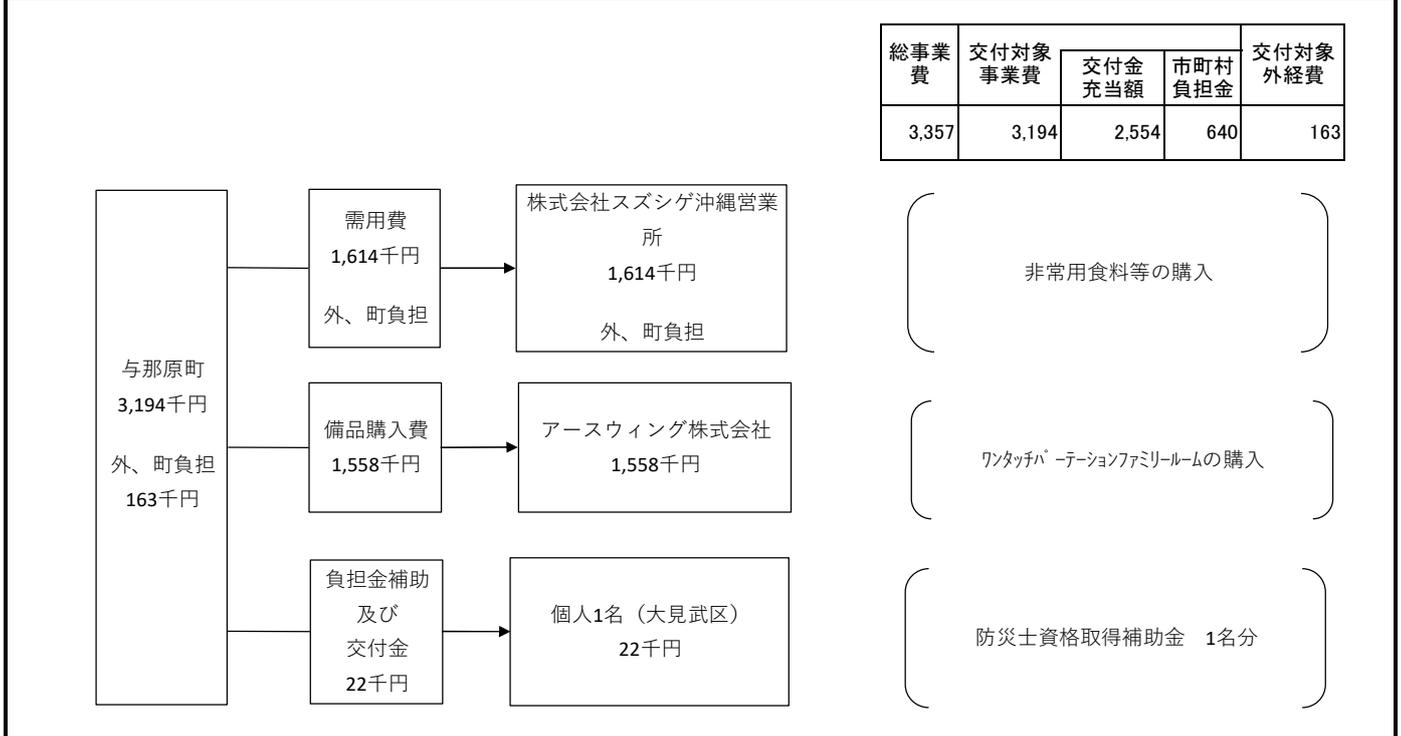
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	1,165		1,407	5,021	3,514
		1,165		1,303	4,632	3,365
		0	0	▲104	▲389	▲149
		1,165	0	1,303	4,632	3,365
		1015		1302	4,554	3,194
		812		1042	3,642	2,554
		87.1%	#DIV/0!	99.9%	98.3%	94.9%
	予算の状況の説明	実績に伴い、入札残と負担金補助金の残の計149千円を予算減。執行率は、94.9%であり適切に執行することができた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
非常用食料	目標	(      )	( 1,272食 )	( 1,946食 )	( 1,644食 )
	実績		1,320食	1,946食	1,644食
粉ミルク(アレルギー対応)	目標	(      )	( 10箱 )	( 100箱 )	( 100箱 )
	実績		10箱	100箱	100箱
保存水	目標	(      )	( 2,304本 )	( 2,328本 )	( 2,328本 )
	実績		2,304本	2,328本	2,328本
ワンタッチパーテーションファミリールーム	目標	(      )	(      )	(      )	( 40張 )
	実績				40張
防災士資格取得の支援(補助金)	目標	(      )	(      )	( 5人 )	( 5人 )
	実績			3人	1人
【参考指標】ポータブル電源	目標	(      )	(      )	( 3台 )	(      )
	実績			3台	
【参考指標】ソーラーパネル	目標	(      )	(      )	( 3台 )	(      )
	実績			3台	
【参考指標】差し替えベスト	目標	(      )	(      )	( 200着 )	(      )
	実績			200着	
【参考指標】自主防災組織への防災マップ配布	目標	(      )	(      )	( 130冊 )	(      )
	実績			130冊	
達成状況説明	・非常用食料は、目標個数が過大だったため1,644食で整備完了となった。 ・保存水、資機材(ワンタッチパーテーションファミリールーム)の目標個数を達成。 ・防災士資格取得の補助は、5人の予定だったが防災士資格取得を受講した方が1人だったため、未達成(20%)となった。				

R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R10年度)
非常用食料(レトルト)	目標	( )	( 820食 )	( 1,446食 )	( 1,144食 )	( 整備完了 )
	実績		820食	1,446食	1,144食	
非常用食料(パン類)	目標	( )	( 500食 )	( 500食 )	( 500食 )	( )
	実績		500食	500食	500食	
粉ミルク(アレルギー対応)	目標	( )	( 10箱 )	( 100箱 )	( 100箱 )	( )
	実績		10箱	100箱	100箱	
保存水	目標	( )	( 2,304本 )	( 2,328本 )	( 2,328本 )	( )
	実績		2,304本	2,328本	2,328本	
ワンタッチパーテーションファミリールーム	目標	( )	( )	( )	( 40張 )	( )
	実績				40張	
防災士資格取得の支援(補助金)	目標	( )	( )	( 5人 )	( 5人 )	( )
	実績			3人	1人	
【参考指標】 ポータブル電源	目標	( )	( )	( 3台 )	( )	( )
	実績			3台		
【参考指標】 ソーラーパネル	目標	( )	( )	( 3台 )	( )	( )
	実績			3台		
【参考指標】 差し替えベスト	目標	( )	( )	( 200着 )	( )	( )
	実績			200着		
【参考指標】 自主防災組織への防災マップ配布	目標	( )	( )	( 130冊 )	( )	( )
	実績			130冊		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和10年度までに非常用食料(8,910食)を整備する計画に対し、令和6年度(1,644食)を整備することで整備完了となった。</li> <li>・避難者のプライバシーを守るためにワンタッチパーテーションファミリールーム40張を整備した。</li> <li>・防災士資格取得の支援は、令和10年度までに全自主防災組織(13団体)に1人以上の防災士配置を行うために1人の防災士資格取得を支援した。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用食料の整備の完了に伴い、次年度以降に整備する資機材等の優先順位を決める必要がある。</li> <li>ワンタッチパーテーションファミールームの40張の整備により避難者のプライバシーを守る体制が整ったことから避難者が安心して過ごせる様に資機材当の優先順位を決める必要がある。</li> <li>防災士資格取得補助金の利用申請が伸び悩んでいることから周知活動を強化する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所等の資機材・消耗品の整備にあたっては、地域住民・役場保健師等の意見を参考に整備する資機材・消耗品等の優先順位を検討する。</li> <li>防災士資格取得補助金については、広報紙及びHPを利用して補助金の周知を強化し申請者数の増に繋げる。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所等の資機材・消耗品の整備は、区長・役場保健師等の意見を踏まえた優先順に基づいて計画的に整備を行う。</li> <li>防災士資格取得補助金については、広報紙及びHPに補助金の周知を行い申請者数の増に取り組む。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受注業者は、条件付き一般競争入札により選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・複数業者見積を参照として積算しており、予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者には資格取得費用の5割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・納品検査を実施し費目・用途は、事業目的に即し真に必要なものに限定されている。

市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-(イ)		
担当部署名	企画政策課	事業実施(予定)年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	快適な生活環境の形成 Ⅲ-11		
事業内容	安心安全で円滑に町内外を移動できる交通環境を整えるため、交通教育としてバス教室の取り組みを実施する。 また、その他の取り組みとして、自動車だけによらない移動手段の確保の為シェアサイクルを実証実験にて導入し、円滑な交通体系の構築を図る。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和9年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		(a) 当初予算額	7,760	300	10,430		
	(b) 予算現額	6,094	259	10,430			
	(c) 増減額(b-a)	▲1,666	▲41	0	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	6,094	259	10,430	0	0	
	B. 執行済額	5,926	258	10,382			
	うち交付金充当額	4,740	207	8,305			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	97.2%	99.6%	99.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	執行率は99.5%であり適切に執行することが出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	①交通教育の実施(交通教室の実施)	目標	( 交通教室2回ポスター作製フラグ作成 )	( 交通教室2回 )	( 交通教室2回 )	( )	
		実績	交通教室2回ポスター作製フラグ作成	交通教室2回	交通教室2回		
	②シェアサイクル導入の実証実験	目標	( )	( )	( シェアサイクル導入の実証試験 )	( )	
実績				シェアサイクル導入の実証試験			
達成状況説明	①交通教室(バス教室)を町内小学校2校で計2回行うことができた。 ②シェアサイクル導入に係る実証実験を実施する事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
	①公共交通教育の理解参加人数の80%が理解	実績		100%	95%	92%	
		目標	( )	( )	( )	( シェアサイクル導入の実証試験開始 )	( )
	②シェアサイクル導入の実証実験開始	実績				シェアサイクル導入の実証試験開始	
進捗状況説明		バス教室に参加した児童生徒に対して行ったアンケートの結果、理解を示した回答が92%であり、成果目標を達成できた。 また、シェアサイクルの導入を行い実証実験を開始する事が出来た。					

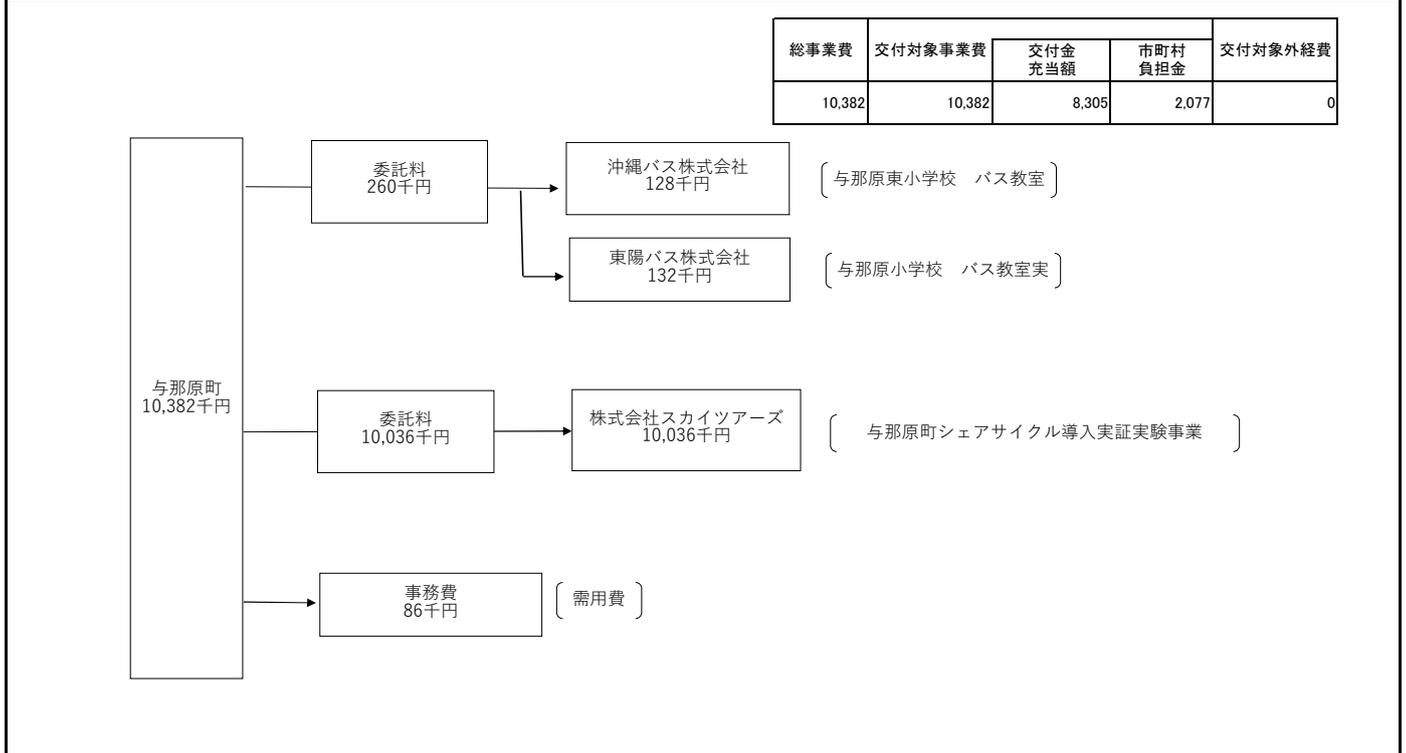
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(公共交通について) ・町内を運行するバス会社と協力し小学校へのバス教室を実施することが出来た。	(公共交通について) ・バス教室は継続的に取り組むことで効果を発揮できると考えている為、引き続き実施する。 ・対象年齢を上げて実施する事で、より社会に出た際に車以外の選択肢が増えると思われる事から、対象を中学生等でも考えて行く必要がある。
	(交通環境の構築) ・自動車以外の移動手段を選択できる交通環境の整備に向けシェアサイクル導入に係る実証実験を行う事が出来た。	(交通環境の構築) ・シェアサイクル導入により、町民へ新たな交通手段の意識を広める事で、実験後に事業が自走出来る様促していく必要がある。

**今後の取り組み方針**

(公共交通について)  
・バス会社と協力しバス教室を継続的に実施する。また、対象年齢についても引き上げて行えるか検討する。

(交通環境の構築)  
・シェアサイクル導入の実証実験について、町民とのマッチングを見ながらポート等新たに設置する箇所について検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 減 点 検 査 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に基づき随意契約で選定しており、妥当であったと考えている。(バス教室)
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者は、プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。(シェアサイクル)
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算執行率が99.5%であり、適正な規模であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	与那原町
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	9	運玉森「平和学習広場」整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-1-(4)-ア
担当部署名	ブランド推進課	事業実施(予定)年度	令和元～令和6年度	沖縄文化の継承・発展・普及
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(3)

**事業内容** 運玉森での平和学習機会を増やす為、平和学習広場利用者の駐車場整備を行う。

**効果発現年度**  当年度  後年度(7年度)

**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他( )

		R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R6年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額		10,000		48,000	8,500
	(b) 予算現額		13,935		41,858	8,500
	(c) 増減額(b-a)	0	3,935	0	▲ 6,142	0
	(d) 繰越額	11,715		4,939	0	0
	A. 計(b+d)	11,715	13,935	4,939	41,858	8,500
	B. 執行済額	11,715	8,580	4928	40,435	8,114
	うち交付金充当額	9,372	6,864	3942	32,347	6,491
	次年度繰越額		4,939			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	61.6%	99.8%	96.6%	95.5%
予算の状況の説明	不用額386千円については、委託及び工事の入札残や用地費の見直しを行った減などによるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
駐車場用地測量業務 一式	目標				駐車場用地測量の実施
	実績				駐車場用地測量の完了
駐車場整備工事 一式	目標				駐車場整備工事の実施
	実績				駐車場整備工事の完了
案内板設置工事 一式	目標				案内板設置工事の実施
	実績				案内板設置工事の完了
用地買収 一式	目標				用地買収の実施
	実績				用地買収の完了
達成状況説明	用地測量業務、駐車場整備工事、案内板設置工事及び用地買収を完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		平和学習広場利用者用駐車場整備の完了	目標 ( )	( )	( )	( )
	実績				平和学習広場利用者用駐車場整備の完了	
進捗状況説明	平和学習広場利用者用駐車場整備を完了した。					

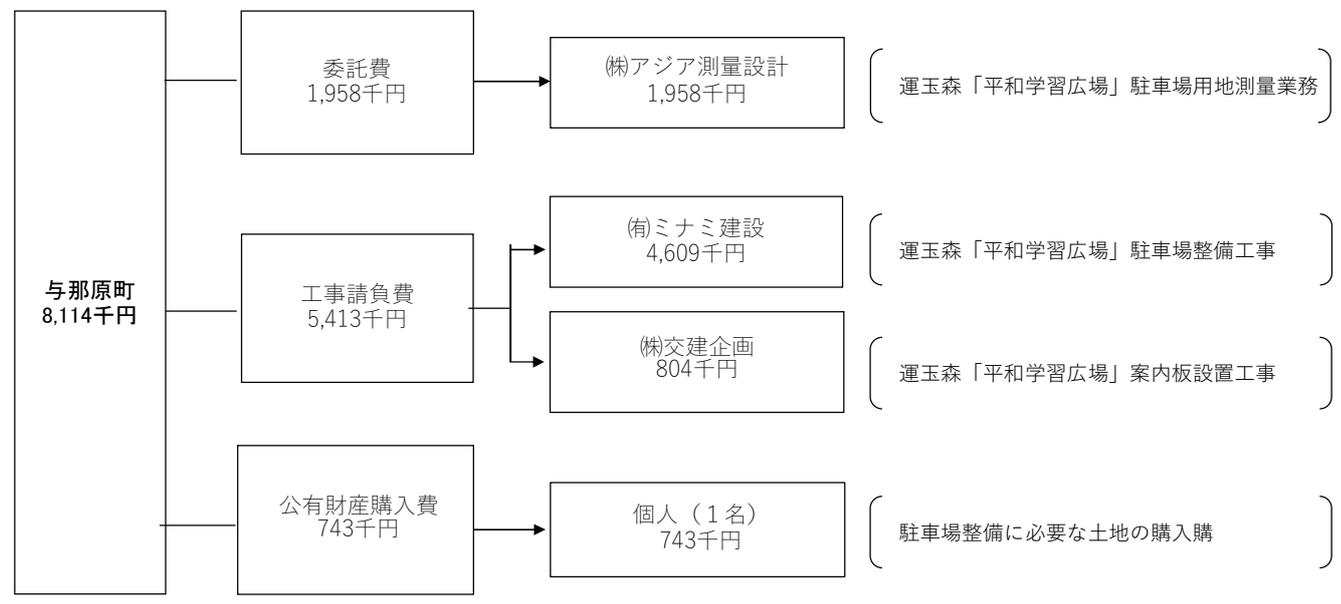
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平和学習広場利用者駐車場整備は完了した。駐車場から平和学習広場への導線案内をしっかりと行い、平和学習の機会を増やす必要がある。	平和学習の機会増加のために町内、小・中・高・大学への広報活動を行い、町民に対しても広報誌やHP、与那原町のポータルサイトを活用して周知を行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

5月21日の「与那原町平和の日」に向けて、平和学習広場を活用した事業を積極的に行う。町民全体が平和の意識の高揚を図るための機会を設ける事により、恒久平和を念願する。また、平和学習広場は与那原町内を一望できる場所でもある事から、通常はハイキングコースやウォーキングコースとしてのスポーツ的な活用や与那原町は「歩いて周遊する観光」も推進していることから観光スポットの一つとしての活用にも取り組んでいきたいと考えている。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,114	8,114	6,491	1,623	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び駐車場整備工事については指名競争入札により決定、また、案内板設置工事は少額のため見積りにより決定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点からの必要なか等について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那原町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11	与那原町青少年人材育成交流事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部課名	生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的に県外へ派遣する。現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。事業実施する町内社会教育団体へ補助を行う。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度( 7 年度)						
実施方法	□直接実施   □委託   ■補助   □負担   □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,700	2,475			
		(b)予算現額	1,700	2,475			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	1,700	2,475	0	0		
	B.執行済額	1,533	1,941				
	うち交付金充当額	1,226	1,552				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	90.2%	78.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業実施主体団体からの申請を精査のうえ交付決定を行った。概算要求からの実施額縮小から補助金の交付額は減額となったが、適切に執行できている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	県外への派遣	目標	( 15人 )	( 15人 )	( )	( )	
		実績	9人	15人			
	報告会の開催	目標	( 1回 )	( 1回 )	( )	( )	
実績		1回	1回				
達成状況説明	公募により27人の申込みがあり、事務局による選考を行い内15人を当初の予定どおり派遣した(派遣人数については引率(育成者4人を含む19人)。事業実施規模から適切な派遣人数であったと考える。報告会は派遣事業終了後に1回行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(7年度)
	事後アンケートの実施・達成度回答	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( )	( )
		実績		98%	98%		
	報告会の開催	目標	( )	( 1回 )	( 1回 )	( )	( )
		実績		1回	1回		
	ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録人数	目標	( )	( 5人 )	( 5人 )	( )	( )
		実績		6人	10人		
【参考指標】派遣の翌年度における事業参加者の、町平和事業等への参画	目標	( )	( )	( 年3回 )	( )	( 年3回 )	
	実績			年5回			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣研修後のアンケートにて、達成度の指標として「よかった」「どちらかといえばよかった」といった肯定的な回答が目標値の80%以上である98%あった。</li> <li>派遣事業実施後に研修報告会を目標どおり行うことができた</li> <li>今回の派遣事業に関心をもち、新規でジュニアリーダークラブに加入した人数が10人であった。</li> </ul> 【参考指標】派遣した児童生徒が、後年度効果検証にあたり町の平和事業や生涯学習に係るイベント・事業へ参画する回数が年間通して5回程度、延べ35人程度あった。						

